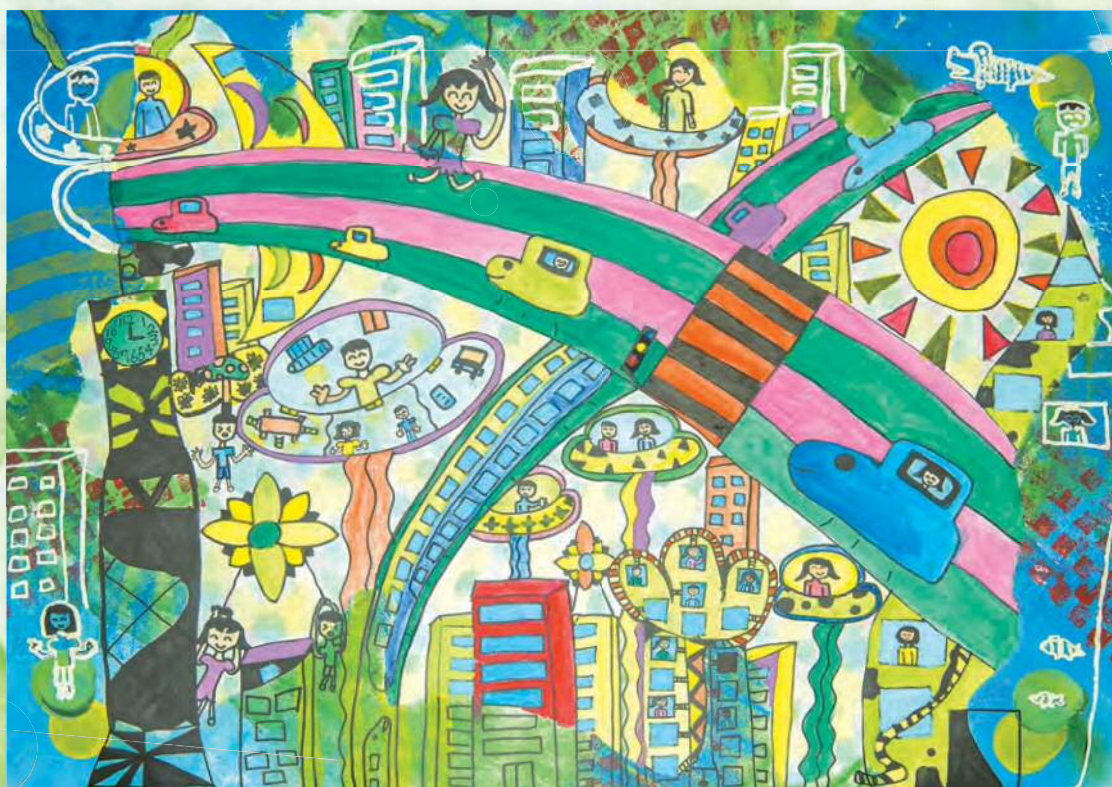


いきいきと だれもが夢に向かって輝く 越谷教育プラン

第2期越谷市教育振興基本計画



越谷市・越谷市教育委員会
平成28年3月

ごあいさつ



平成 27 年は、本市にとってうれしいニュースが 2 つありました。越谷市民として、8 月に星奈津美さんが、世界水泳選手権で競泳女子日本勢初の金メダルを獲得し、また、12 月には梶田隆章さんが、埼玉県出身者初となるノーベル物理学賞を受賞されました。星さんと梶田さんの偉大な功績は、日本人の誇りであり、越谷市民にとって、自らの夢や希望を実現していくうえで大きな力となることと思います。

本市では、第 4 次越谷市総合振興計画に基づき、「水と緑と太陽に恵まれた 人と地域が支える安全・安心・快適都市」を将来像としたまちづくりを進めています。特に、教育分野においては、「いきいきとだれもが学べる心豊かなまちづくり」を目標に掲げ、市民の皆様が身近な場所で生涯にわたり学び続けることができる環境づくりに努めています。

平成 23 年度には、教育行政を総合的かつ計画的に推進するため、向こう 10 年間を見据えた前期 5 年間の計画として「いきいきとだれもが夢に向かって輝く越谷教育プランー越谷市教育振興基本計画ー」をスタートさせ、この間、学校施設の耐震化や環境教育の推進、ライフステージ・ライフスタイルに対応した様々な教室・講座の充実など、多岐にわたる施策に取り組み、着実に成果を上げてまいりました。

このたび策定した「第 2 期越谷市教育振興基本計画」では、誇りと郷土愛をもって世界にはばたく人材の育成をめざし、これまでに築き上げてきた本市教育の良さを存分に活かしながら、教育施策を積極的に推進するための様々な取り組みを盛り込みました。

また、平成 27 年 4 月に本市は中核市に移行しました。これに伴い、県東部地域の揺るぎない中心都市として、市民の皆様により身近なところできめ細かな市民サービスを提供するとともに、市民が誇れる住みよいまちづくりを推進します。教育に関する様々な取り組みにつきましても、平成 27 年度から開催しております「越谷市総合教育会議」などを通して教育委員会と協議・調整を図りながら一層連携を深め、多様化・高度化する市民の皆様の学習ニーズにあわせて充実してまいりたいと考えています。

市民の皆様には、学校・家庭・地域が一体となって、本市の宝である子どもたちを見守り、育むという思いを共有し、今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたりましてご協力いただきました関係機関の皆様、パブリックコメント等を通して貴重なご意見、ご提言を賜りました皆様へ、心からお礼を申し上げます。

平成 28 年 3 月 越谷市長 高橋 努

ごあいさつ

近年、少子高齢化の進行とともにグローバル化・情報化が進展する中、教育を取り巻く環境は大きく変化し続けており、教育現場においても、学力の向上、規範意識の高揚、積極的な生徒指導の推進、家庭・地域との連携、さらにはいじめ・不登校の解決など、取り組まなければならない様々な課題が顕在化しております。教育行政には、教育のもつ普遍的な目的を見失うことなく、かつ、時代の大きな流れにも的確に対応しながら、「次代を担う人材の育成」という使命を果たしていくことが求められています。

本市教育委員会では、平成23年3月に策定した「いきいきとだれもが夢に向かって輝く越谷教育プランー越谷市教育振興基本計画ー」に基づき、「いつでも、どこでも、だれもが生涯にわたり、自分らしく、いきいきとした生活を送り、学び続けることのできる生涯学習社会の実現」をめざすために、学校教育・生涯学習・生涯スポーツの3つの分野においてそれぞれの基本目標を掲げつつ、各分野が相互に連携を図りながら、一貫した理念のもと、教育施策の推進に積極的に取り組んでまいりました。

このたび、これまでの取り組みの成果を継承しつつ、点検・評価において見いだした課題や社会の変化に伴う新たな教育課題に対応するため、「第2期越谷市教育振興基本計画」を策定しました。本計画は、国による第2期教育振興基本計画の策定や教育委員会制度改革、子どもたちの「生きる力」を一層育むことをめざした新学習指導要領の実施、「いじめ防止対策推進法」の制定など、近年の教育改革の主旨を踏まえ、今後5年間に本市が取り組むべき教育施策について定めたものであり、学校・家庭・地域が一体となって進むための指針となるものです。

この国の将来を担う子どもたちが自ら夢や希望、目標をもって自己実現を果たすことができるよう、学校教育において「生きる力」の基盤を育むとともに、生涯にわたり学んだ成果を地域社会に還元できるような「循環型生涯学習社会」を実現することは、教育行政の責務です。教育委員会では、第1期計画から継承した「生涯学習社会の実現をめざして」という基本理念のもと、地域の皆様や関係機関と連携し、一つの目標に向かって創意工夫を重ねながら、成果指標等による適切な進捗管理を行うとともに、その結果を改革・改善につなげることにより、諸施策を着実に進めてまいります。

結びに、本計画の策定にあたっては、第1期計画の進捗管理において特に力を入れてきた「教育委員会の事務に関する点検評価」にご協力いただきました外部評価者の皆様からのご意見を踏まえるとともに、教育委員会が所管する審議会等の委員の皆様や、社会教育関係団体をはじめとする各種団体の皆様、学校関係者、児童生徒の保護者の皆様など、幅広い市民の皆様からたくさんの貴重なご意見をお寄せいただきました。改めまして、皆様に厚くお礼申し上げますとともに、本計画の策定を新たなスタートとして、今後とも本市教育の振興にご協力くださいますよう心からお願い申し上げます。

平成28年3月

越谷市教育委員会

目次

第1編 総論

第1章 はじめに	2
1 越谷市の教育の歩み	2
2 計画の策定について	3
(1) 計画策定の趣旨	3
(2) 計画の位置付け	3
3 計画期間	4
第2章 基本理念・基本目標	5
1 基本理念	5
2 3つの視点	6
3 3つの基本目標	7
4 体系の見直し	8
第3章 今日の教育を取り巻く社会の動向	9
第4章 越谷市の教育の特徴	12
1 地域を大切にされた特徴的な取り組み	12
2 特徴的な各種教育施設	13
第5章 取り組みにおける成果と課題 ～第1期計画の検証～	15
基本目標1 生きる力を育む学校教育を進める	16
施策の方向1 自立して生きていくための基礎となる確かな学力を育む	16
施策の方向2 自立して生きていくための基礎となる健康な心と体を育む	18
施策の方向3 信頼される、質の高い教育を進める	20
施策の方向4 保護者・地域との協働を進める	22
基本目標2 生涯にわたる学びを充実し、地域の文化を創造する	23
施策の方向1 生涯を通じた学習活動を推進する	23
施策の方向2 芸術文化活動を推進し、伝統文化を継承する	26
基本目標3 生涯にわたりスポーツ・レクリエーションに親しめる環境をつくる	28
施策の方向1 スポーツ・レクリエーション活動の充実を図る	28
施策の方向2 スポーツ・レクリエーション活動を支援する体制の充実を図る	29
施策の方向3 スポーツ・レクリエーション施設の充実を図る	30
施策の方向4 健康ライフスタイルづくりを支援する	31

第2編 各論

第1章 施策の体系	34
第2章 施策の展開	39
基本目標1 生きる力を育む学校教育を進める	41
施策の方向1 自立して生きていくための基礎となる確かな学力を育む 1-1	42
施策の方向2 自立して生きていくための基礎となる健康な心と体を育む 1-2	47
施策の方向3 信頼される、質の高い教育環境をつくる 1-3	54
基本目標2 生涯にわたる学びを充実し、地域の文化を創造する	61
施策の方向1 生涯を通じた学習活動を推進する 2-1	62
施策の方向2 芸術文化活動を推進し、伝統文化を継承する 2-2	69
基本目標3 生涯にわたりスポーツ・レクリエーションに親しめる環境をつくる	73
施策の方向1 健康ライフスタイルづくりを支援する 3-1	74
施策の方向2 スポーツ・レクリエーション活動を支援する体制の充実を図る 3-2	77
施策の方向3 スポーツ・レクリエーション施設の充実を図る 3-3	80
第3章 市民団体等との連携による教育に関する取り組み	82

第3編 まとめ

第1章 計画の推進	88
1 計画の推進にあたって	88
2 計画の進行管理、点検・評価	89
3 指標一覧	90
4 子どもたちが思い描く将来の夢	93

資料編

1 第2期越谷市教育振興基本計画策定委員会設置要綱	102
2 第2期越谷市教育振興基本計画策定検討部会設置要綱	103
3 第2期越谷市教育振興基本計画策定委員会名簿	104
4 第2期越谷市教育振興基本計画策定検討部会名簿	104
5 第2期越谷市教育振興基本計画策定事務局名簿	105
6 策定体制	106
7 策定経過	107
8 用語説明	108
9 市の憲章と各種宣言	114



出羽小学校 1年 阿部 一葉
「大きな木の下で」

大きな木の下で、たくさんのおともだちや、どうぶつやこりたちと、いっしょにおべんきょうできたら、とってもうれしいな。



光陽中学校 2年 佐藤 智香
「私がつくる街」

未来の私を中心に描き、その周りに私の想像する未来の越谷を描きました。空に飛んでいる鳥はしらこばとをイメージしました。